

《記念講演》

こ ダウン症の娘と共に生きて

未来が全く見えなかった娘の翔子さんの誕生から数年、何か出来るはずと考え、行動を始めた書道教室のスタート、素晴らしい特別な世界をもった翔子さんの母としてのお話は感動です！

かなざわやすこ
〔講師〕 **金澤泰子** 氏（書家）
（金澤翔子さんの母）



■ 講師プロフィール

1943年生まれ、明治大学卒業。

書家 柳田流家元に師事。

1990年、東京・大田区に「久が原書道教室」を開設。

著書に『愛にはじまる』（ビジネス社）、『天使の正体』『天使がこの世に降り立てば』（共にかまくら春秋社）、『翔子の書』（大和書房）、『涙の般若心経』（世界文化社）、その他多数。

久が原書道教室主宰。東京芸術大学評議員。日本福祉大学客員教授。

■ 講演内容

ダウン症の娘を生んだ母は「希望がないから育てられない」と、一時は絶望を味わった。

しかし、31年の時を経て、娘の金澤翔子は書道家としての道を着実に歩んでいる。

子育てに悩む親はもとより障がい児を抱える親など、より多くの人々に夢や希望を見いだしてほしい。

